

●若手のための生物多様性保全研修会 2月2日(日)、2月8日(土)

河川保全を知ると題して「竹蛇籠と河川保全」…河川工法の将棋頭型竹蛇籠水制として9時40分から13:00まで木津川(玉水橋広場)で開催をいたします。現在参加希望者は14名の方々が応募されています。私たち里山の会は青年たちにとって良い経験となるので京都府自然環境課の主催を支援して協力いたします。まだまだ参加に余裕がありますのでご参加ください。雨天でのプログラムも用意し愉快で有意義な取り組みにしようと張り切っています。

そのために竹蛇籠を6mの長さに作り直す作業を1月8日に行いました。この日は冷たい北風がカルバートを吹き抜けましたが、スタッフの皆さんは元気を奮い起こして頑張ってくださいました。3時間ほどの作業で完了させることが出来ました。これで予定日(2月8日)には設置することが可能になりました。必要な流れ止め杭や、重しの栗石などについては河川内のもので用意できるようにと手配をしています。寒さ厳しい河川敷の作業ですが防寒対策をしっかりと行って多くの方がご参加くださることをお願いいたします。設置されれば魚たちが安心して住むことのできる場所が作り出されることになります。



若手のための生物多様性保全研修会 案内 HP

https://www.pref.kyoto.jp/biodic/news/20241214_wakatekensyu.html

●京都府環境フェスティバルが京都市伏見区竹田のパルスプラザで開催されます。2月1日(土)

里山の会は毎年参加してきましたが、今年2025年は親子工作として松かさツリー作りと竹鉛筆づくりを参加者に提供する段取りをしています。そして活動内容の説明にはA-1のポスター8~10枚を掲示する予定です。そして初めて中学生二人の観察活動ポスター(キタキチョウ等)での説明発表準備をお願いしていますのでご期待ください。



京都府環境フェスティバル HP

<https://kyoto-kankyofes.com/>

●炭焼き体験教室

炭焼き体験教室は里山の会として結成以来実施してきましたが、今年は原木から切り出す作業から開始いたします。これまでだと生木は窯詰めして着火(2月22日を予定)するには少なくとも30日は乾燥させる期間が必要だとされていますので、1月22~24日の三日間に原木を切り出し、太いものは割っておきたいものです。山には大木がたくさん生えていますが、運び出すには力が必要ですので、今後このような取り組みはかなり難しくなるのではないかと思います。貴重な体験が出来るチャンスでもありますので積極的にご参加ください。

●年が変わりまして2024年度年間事業の実施報告書を作成に取り掛かっています。

年間活動ではイベントの参加者は1884人、里山農園作業参加者は491人(10月分を含まず)で、木津川希少種植生調査管理業務参加者の実働時間533時間の作業でした(多少の変化はあります)。このような実績を参考にして次年度はどのような活動を展開すればいいのか、また新しい活動と開催時期の提案を皆さんからお寄せください。新年度の活動やイベントについてご意見を里山の会にお寄せくださると大変ありがたいです。

●訃報 初代やましろ里山の会 会長 山本雅晃さん(93歳)が逝去されました。

葬儀は1月15日で大村理事長、播川前理事長、森島副理事長、山村常務、伊藤喜明夫妻がお見送りをいたしました。里山の会が発足してカネもないモノもない会員も少ないというナイナイづくし時代に理事長職を引き受けていただきました。そして10周年記念事業をやり遂げ里山の会の事務所実現に力を発揮され、事務所体制を整備されてきました。豊富な人間関係を活かして多くの顧問就任に力を発揮され、後任者育成に努力されてきました。会誌発行には懸念の声が大きい中において、必要性を説き里山の会の芯柱を築きあげられました。今事務所で使用している事務机と椅子は定年後勤務されていた会社で更新するにあたって、里山がもらい受けて頂きまして現在も使用させていただいています。木津川の高水敷での家庭菜園づくりに精を出し、植物関係の事業全般のリード役を果たしていただきました。若い時から毛糸編み教室の講師をされておられた奥様を失われた後もピンピンコロリが大事だと木津川堤を歩いて健康に気を使っておられました。しかし93歳の高齢による体力の低下にはいかんとも仕方なく肺炎を発病され93歳の天寿を全うされました。四国から単身京都府職員として就職し、面倒見の良い監督者として部下を数多く育成されてきました。まことに惜しい山本さんを失ったことは残念です。ご冥福をお祈り致します。

農園部会だより
7人で草木灰作り・炭窯の整理

●1月11日(土) 里山農園にて

里山農園の気温は低かったですが、日差しがあり暖かい1日でした。と言っても里山農園は寒かったこともあり、集草した草を利用した草木灰作りをしながら暖をとりました。また、翌日の朝市に向けて残り的大根を収穫しました。さらに、炭焼きでお世話になっている炭窯が里山農園から車で数分のところにありますが、炭づくりに向けて整備作業も併せて実施しました。作業ではありませんが、昨年11月から12月に植えた玉ねぎは、寒さにも負けずじっと耐えて、暖かくなってきたら成長して美味しくなってやろうと準備しているようでした。



作業予定の確認の様子



集草した草で草木灰作り(水の入ったバケツも準備)